

東国幹道議が道6区支部長に決定！

東国幹 プロフィール

- 昭和43年2月17日、上川郡風連町(現名寄市)生まれ
 - 深川西高校、東海大学法学部卒業後、佐藤静雄元衆議秘書、旭川市議などを経て、平成11年道議初当選。現在5期
 - 平成23年から約4年間、党道連青年局長を務めたほか、党道連選挙対策委員長、道議会自民党・道民会議議員会長などとして手腕を発揮する
- ◆ 趣味／読書、スポーツ観戦
 - ◆ 好きな食べ物／ラーメン



自民党道連は9月13日、札幌市内で開かれた自民党道連役員会で自民党道6区支部(上川管内)の支部長に、旭川市選出道議の東国幹氏を推薦することを正式決定した。

6区支部長は前任の今津寛前衆議が平成29年に退任した後、長らく空席となっていた。竹内英順幹事長(上川地域選出道議)、本間勲支部長代行(同)が中心となり昨年夏ごろから選考作業を本格化させ、候補者や関係団体などへの意向確認を行ってきた。

7月26日の選考幹事会で東氏から6区支部の全会一致の推薦などを条件に、出馬を前向きに検討するとの意向が示されると、



教育や農業分野の課題には特に力を注いできた

東氏擁立の流れが一気に加速。8月22日に上川管内23市町村の支部長会議が開かれ、東氏を支部長に選出することが全会一致で決まった。

10月20日に党本部が6区支部長に決定した。

東氏は「北海道を開拓した先人のフロンティアスピリットを大切にしながら、世界から信頼され、国民が誇りに思えるような国づくりを進めたい」と抱負を語った。



平成29年に自民党会派の議員会長に就任し、あいさつを述べる東氏